

今月のことば

へいわ ちか 平和への誓い

もしも「大切なもの」が一瞬で消えてしまったら、どんな気持ちになるのでしょうか。

私たちが笑い合っているときにも、尊い命が失われている現状があります。
今もどこかで、当たり前前の日常がうばわれています。

ぼろぼろになった制服。

黒く焦げたお弁当箱。

それは、当たり前前の毎日を生きていた証です。

昭和20年(1945年)8月6日、午前8時15分。

たった一発の原子爆弾が、人々の暮らしを、人生を地獄に変えました。

髪は焼けちぢれ、全身の火ぶくれが破れ、火傷した皮膚が垂れ下がった人々。

「痛いよ。苦しいよ。」

「助けて、お母さん。」

「死にたくない。」

「助けてあげられなくてごめん。」

死んでしまうつらさ、生き続ける苦しみは、想像することさえ恐ろしいことです。

私たちには、被爆体験を直接聴くことができる最後の世代として、

当時の記憶を事実として受け止める使命があります。

目をそらさず、知ろうとすること。

悲しい現実でも向き合うこと。

そこには、「生きたかった人々」、「生き続けた人々」の思いがあります。

私たちには、広島の子供として、行動する責任があります。

相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。

平和への思いを、自分なりの方法で表現すること。

一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。

平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです。

こどもである私たちも、その一員として平和への一歩を踏み出します。

かけがえのない「大切なもの」を、確かな希望を、未来へ届けるために。

令和8年(2026年)8月6日

こども代表 広島市立高須小学校
広島市立高南小学校

6年 柿崎 由宇
6年 河野 和希

だごぼろはん
Coborohan News



発行 真宗大谷派 常入寺
電話 930-0161 富山市東老田787
住職携帯 (076) 436-0816
発行責任 青井 和成
090-3764-3983

LINEはこちらから↓
✓お参りの変更
✓法事の相談
✓その他
いつでもからいつでもOKです



今年も、広島の子どもたちによる「平和への誓い」を「今月のことば」として掲載します。
実は今年、掲載することを少し迷いました。毎年、子どもたちの言葉はとても分かりやすく、素直に心に入ってきます。だからこそ長年掲載してきました。しかし一方で、広島に生きる子どもたちにも「平和を語る」という役割を、私たち大人が背負わせてはいないだろうか。そんなことも思うようになったからです。
平和な社会をつくる責任は、本来、大人である私たちにあります。それなのに、毎年子どもたちに「平和への誓い」を語ってもらい、それを聞いた大人が「いいことを言うね」と感心して、ただでは、何か違うよ、うなずきます。



お一人で静かに、あるいはご家族の皆さまで、どうぞゆっくりお読みください。

常入寺
秋季彼岸会

お寺DE アユギライブ

本堂がライブハウスになる日

声を聴くということ

うた 鈴木君代さん

『阿弥陀経』には、お浄土では美しい音楽や鳥の声が響き、その一つひとつが阿弥陀さまの説法であると説かれています。ここは浄土ではありませんが、音楽を聴きながら仏さまの風を感じてみませんか。

約30年前、鈴木君代さんが初めてお寺でライブを行われたのが当寺でした。当寺にとっては、まさに「凱旋ライブ」です。

お寺の静けさに響く、心にしみる歌声をぜひお楽しみください。どうぞ手ぶらで、ふらっとお越しください。



【鈴木君代 profile】

京都市生まれ。真宗大谷派僧侶・シンガーソングライター。大谷大学卒業後、真宗大谷派宗務所(東本願寺)に勤務。現在、京都のライブハウスをはじめ、全国の真宗寺院でも精力的に活動している



日時

9月27日(日)
午後2時より4時まで

会場

常入寺本堂

参加費

無 料
(ただし途中で任意のお賽銭(100~500円程度)のご協力をお願いいたします)



先祖にであおう 親鸞聖人にであおう
東老田 常 入 寺
富山市東老田 787 ☎076-436-0816

どうぞお気軽に
お越しください